



TITLE:

東亞天文協會觀測部月報欄 (日食特
輯號)

AUTHOR(S):

CITATION:

東亞天文協會觀測部月報欄 (日食特輯號). 天界 1936, 16(182): 327-330

ISSUE DATE:

1936-05-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167236>

RIGHT:

東亞天文協會 觀測部月報欄

變光星課報告 (38)

倉敷 小山 秋雄

1936年3月中の觀測報告數

氏名	今津 續	木邊成磨	加藤孝一	香掛七二	高井博典	笹部榮一	伊達英太郎	佃 泰三	鈴木一男	小澤喜一	井澤正男	西井宗一	安武研二	横山淑郎	河合孝一	小山秋雄	合計
星數	3	33	15	4	0	7	0	12	4	12	4	32	0	0	8	11	68
觀測數	5	219	85	4	0	31	0	67	22	83	16	175	0	0	62	90	859

流星課月例報告 (62)

觀測者	觀測地	11 月			12 月		
		回数	時間數	流星數	回数	時間數	流星數
本 田 實	鳥取縣八東村	5	280	22			
稻垣 武五	東京市	1	120	8			
勝 修	東京市	1	80	5			
宇野 良雄	東京都市	3	150	8			
山田 才吉	瀬戸市	8	215	12			
吉井 耕一	廣島縣竹原市	8	1390	311	14	2549	508
小川 顯世	大阪府市	1	60	9			
五十川 一郎	大阪府市	1	75	3			
玉井國三郎	大阪府市	1	60	2			
(長 府 班)	山口縣長府市	3	490	193			
(市岡中學班)	大阪府市	2	121	20			

例年の獅子座流星期にあたるが、好出現も見込薄であり、加ふるに月明の妨害で觀測數は極めて募かつた。従つて同流星群出現の實狀を詳にし得ないが、出現程度は少くとも昨年以下で、或ひは例年程度にまで減少したとも想像せられる。

次にこの2ヶ月間に於て見られたる流星群としては11月1日夜の双子座と流星群($\alpha=105.5$, $\delta=+17.5$)及び12月上旬に於ける小獅子座流星群($\alpha=152$, $\delta=+35$)が擧げられる、ともに吉井氏の觀測であるが、殊に後者は1921年12月5日拂曉故井上四郎氏が東京に於て著しい流星雨として觀測されたものと同じである。

遊 星 面 課 月 報

永い間休んでおりましたが、實は日食準備と適當な星が夕刻に出て居らなかつた爲めに、つい報告を怠つておりました。

さて6月は日食で、花山は總動員されてスツカラカンになりますが、月末には土星リングの消失と云ふ、實に15年振りの珍象が起ります。詳細は天界本年2月號に稻葉理學士が詳述されましたから御存知の筈で、當課としては下の如き協同觀測のプランを立てましたから、いやしくも望遠鏡を持つておられる方は、舉つて觀測され度い、北海道へ行けぬ人々の鬱憤を晴らすに好箇の Object だと思ふ。

大體アンサ(直線に見える輪)の見える方を下の如きスケールで表はして他に口徑、倍率、シーイング、備考を書いて全部の觀測をまとめて下記伊達氏宛御送付願ひ度い。

Ansa のスケール:—

1. アンサは樂に見え非常に明瞭である。
2. アンサは明瞭である。
3. アンサは明瞭であるが、極く稀に見えなくなる。
4. アンサは可成り良く見えるが、時々見えなくなる。
5. アンサは見えたり、見えなくなつたりする。
6. アンサは見難いか、時々見える。
7. アンサは見難いが、極く稀に見える。
8. アンサは全然認められない。

詳細は遊星面課回報第1號を参照して下さい。

木星 觀測の好機となつた。いつ見ても望遠鏡の好き觀測物である。8 糎鏡で十分見取圖が畫ける筈。伊達、前田兩氏の觀測によると、昨年可成り細かつた南赤道帶縞は、今年はシーイングが悪いと小口徑では見難い位淡く細く、その代り、南溫帶縞は北赤道帶にも劣らぬ位濃くなつて、中央の赤道帶は反對に白味が増した様である。大分變化を認める。

其 他 の 通 知:—

當分當課幹事は日食で多忙になるので、熱心な課員伊達氏に、幹事事務を加勢して頂く事にした。今後も益々課の爲めに盡力して下さいと期待してゐる。

回報發行の件、土星リングの消失を機會に、遊星面課の一大活動を爲す第一歩として回報を發行する事にした。暫くは伊達氏の御手数を煩はす筈である。従つて當分當課についての申込は：――

兵庫縣川邊郡雲雀ヶ丘伊達英太郎氏宛に御願ひします。

回報は年4回發行の豫定だから、2錢切手4枚封入上記へ申込まれ度い。又、木星專用見取圖用紙も上記宛御申込下さい。(2錢切手封入)

尙、回報は5月下旬發行の豫定。

最初の小遊星 4 個の觀測問題

(花山急報 194)

昨年のパリに於ける國際天文同盟總會に於て、今後 Ceres, Pallas, Juno, Vesta の4個の小遊星については、子午環その他により、特別な精密觀測が要求されることとなり、従つて大遊星と同じく、極めて精密な位置豫報が發表されることとなつた。最近ソ國レニングラード天文學院より、先づ Ceres 及び Pallas の1936年度における位置豫報が花山天文臺に到着した。

本年度の新彗星

去る5月18日、コペンハーゲン天文臺より來電あり、下の如き彗星發見を報じて來た。

發見者 米國 Ohio 洲 Delphos 市 Peltier 氏 5月16日4時01.3分(宇宙時)
 赤 經 $23^{\text{h}}51^{\text{m}}59.^{\text{s}}2$ 赤 緯 $+73^{\circ}26'53''$ 分 點 1936.0
 毎日の運動 赤經 $+1^{\text{m}}32^{\text{s}}$ 赤緯 $-0.''06$
 光 度 9, 尾あり, 1° 以下, 核あり。

太陽課 黒點相對數報告 (1936年4月)

觀測者(觀測地)	松本(臺灣臺中高女)	久保(高知高等學校)	伊達(兵庫縣雲雀丘)	野口(大阪市北區)	前田(京都市下京區)	木邊(滋賀縣中里村)	沓掛(長野縣青木村)	清水(静岡縣島田町)	大石(静岡縣吉永村)	森久保(橫濱市中區)	淺居(橫濱保土谷區)	服部(東京市大森區)	稻垣(東京市芝區)	菊池(岩手縣水澤町)
鏡徑耗	58	75	80	76	70	30	102	100	55	58	58	50	75	50
倍率	40	53	70	50	40	50	75	73	64	60	60	48	30	50
1	124	曇	77	110	73	120	164	107	91	115	欠雨	128	83	116
2	曇	131	曇雨	曇	雨	曇	曇雨	曇雨	曇	曇雨	曇雨	曇雨	曇雨	雨
3	曇	105	曇	98	53	139	曇	曇雨	曇	曇雨	曇雨	曇雨	曇雨	曇
4	曇	85	曇	欠	曇	欠	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
5	曇	85	曇	76	50	108	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
6	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
7	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
8	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
9	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
10	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
11	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
12	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
13	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
14	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
15	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
16	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
17	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
18	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
19	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
20	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
21	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
22	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
23	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
24	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
25	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
26	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
27	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
28	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
29	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
30	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
日數	10	14	11	12	17	16	15	10	12	8	10	13	16	12
平均	84	93	83	84	47	93	96	110	64	87	85	105	68	98

●本月はひどくお天氣が悪く觀測日數がみな少いのは残念ですがこればかりは仕方ありません。

●清水氏21、26日は寫眞觀測だけです。